

1 調査の概要

1.1 調査の目的

「未来投資戦略 2018-「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革-(H30.6.15 閣議決定)」では、「農業データの活用の基盤となる「農業データ連携基盤」を来年4月から本格的に稼働させるとともに、幅広い主体の参画を進め、データの連携・共有・提供の範囲を、生産から加工、流通、消費に至るバリューチェーン全体に広げる。」とされているところである。

このため、卸売市場の卸売業者、仲卸業者等の保有するデータの状況、その活用状況等を調査し、バリューチェーン全体でのデータ連携のための条件整理について検証を行うものである。

(以上、農林水産省による調査業務仕様書「第1 目的」より抜粋)

1.2 調査方法

農林水産省による調査業務仕様書の「第2 内容」の定めに沿って、卸売市場の卸売業者等を対象に、訪問によるヒアリング調査を行った。

1) 卸売市場におけるデータの状況及びその活用状況

全国の卸売市場の卸売業者・仲卸業者計20者を対象と設定した。

質問項目は、調査業務仕様書を参考に、ヒアリング先での質問のしやすさを考慮し、以下のとおりとした。

- | |
|--|
| <p>1 保有しているデータについて</p> <p>(1) 当該卸売業者が保有している電子データについて
電子データの種類。種類ごとの情報項目。</p> <p>(2) 種類ごとの電子データの由来 (①自社で作成、②取引先等から電子データを入手、
③取引先等から書類で入手しデータ変換、等)</p> <p>(3) (①自社で作成している場合) 電子データの作成時点と作成方法
作成時点：荷受時、受注契約時、引渡時、入金時等
デバイス：パソコン、タブレット、スキャナ等。
入力方法：キーボード入力、タッチパネル、音声入力、画像変換等</p> <p>(4) (②取引先等から電子データを入手、または③取引先等から書類で入手の場合)
入手時の書類やデータの種類・内容</p> <p>(5) 電子データの保存先 (自社サーバ、クラウド等)</p> <p>(6) 電子データの社内活用の目的 (受発注、輸送・配送、検品、決済・与信管理、品質管理、企画提案等)</p> <p>(7) 電子データの社外への提供・販売・共有 (提供等を行っているデータの種類、相手方及び目的)</p> <p>2 将来ありうるデータ連携について</p> |
|--|

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 将来ありうるデータ連携（データ内容、目的、効果）(2) 実現のための条件(3) そのほか、データ連携についてのご意見・ご提案 |
|--|

2) 比較対象としての他の流通業及び顧客としての量販店、EC事業者におけるデータの状況及びその活用状況

卸売市場のデータの状況及びその活用状況と比較するため、加工食品卸売業者3社からヒアリングを行った。

また顧客である量販店やEC事業者がどのようなデータ提供を必要としているかを確認するため、量販店2社、EC事業者1社にヒアリングを依頼した。

質問項目は、概ね1)と同様であるが、量販店2社とEC事業者1社に関しては、提供を望むデータについても質問することとした。

1.3 ヒアリングの手順と実施時期

ヒアリング先の依頼にあたっては、農林水産省担当官と相談のうえ、期間中にヒアリングを可能とすることと先方にとっての受け入れやすさを重視して、直接その事業者、または業界団体や開設者等を経由して間接的に行った。

依頼にあたっては、調査の趣旨、質問事項等を示した文書「協力のお願い」を送付し、協力を依頼した。対応する人物については、「協力のお願い」に示した質問事項に回答できる人物とするようお願いする一方、役職や部署の指定はしなかった。

ヒアリングの依頼と訪問は、平成31年（2019年）1月から3月にかけて行った。